|  |
| --- |
| タイトル（ゴシック体・12ポイントでこの枠内にお願いします） |
| 発表者名1，発表者名2，発表者名3（1所属，2所属，3所属） |
| 要旨本文を、この枠内に入力してください。本文はこのフォント（MS明朝10.5ポイント）にて横・日本語41文字、縦10行で、全部で約400字です。次ページにサンプルがありますのでご参照ください。　この枠内に収まるように作成し、お名前・御所属をファイル名として保存してください　　　　　　　　　　　（例：杏林太郎多摩医科大.docx）。　締切：2019年9月29日（日）　演題ファイルは事務局・渡部 (watabe@ks.kyorin-u.ac,jp)までメールで添付ファイルにてお送りください。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　（ここまで）

|  |
| --- |
| ○○とパーキンソン病様○○障害 |
| 杏林　太郎1，三鷹　仁2（1多摩医科大・医学部・内科，2大江戸大・メディカルバイオ） |
| ○○を用いて、○○を開発し、○○の解析にも対応できる○○を進めている。○○○においては、○○の破壊は運動量の低下を示さないが、○○阻害剤○○の解析から○○が分布していることが明らかとなった。○○遺伝子の変異はヒトでは、パーキンソン病様運動異常を示すことが判明している。今回、University College △△のProf. ○○のグループとの共同研究で、作成された○○運動異常について解析したところ○○とする所見を得た。個体を用いた○○解析からは、○○が明らかとなり、また○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○であった。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

 |